

あとがき

この1年間は、本当に今までにない濃密な気づきと学びの年となりました。振り返るとあつという間の1年間で、まだまだやり残したことや、もっとやっておけばよかったと思うことも多くありますが、一番の収穫は自分がいかに知らないこと、至らないことが多かったか、を知ることができたことに尽きます。十数年の教員としての歩みを一度振り返り、考え直す機会でもありました。

この研修にあたり、平成国際大学教職支援センター特任教授平澤香先生には、一年間温かくも鋭い視点で格別のご指導をいただきました。平澤先生の社会科や教師に対する温かい見方と、地理分野は勿論、歴史分野にも及ぶ卓越した知識や切り口は、私が研究の方向性や内容に迷っていた時に道しるべを与えてくださいました。上里町から遠方まで、度々巡検や現地調査にも同行していただき、先生の解説を受けながら現地調査をするという経験は何物にも代えがたい貴重なものでした。GISや3Dプリンタなど、新しいものを取り入れ続ける姿勢も私に大きな影響を与えてくださいました。感謝の念に堪えません。

また、同教職支援センターの関泰彦先生、萩原孝之先生も、学生さんたちへの指導にお忙しい中で何かと私のことを気かけ、温かい励ましの言葉をかけてくださいました。ありがとうございます。素晴らしい研究環境を整えていただいた、大学の事務職員の皆様、図書館司書の皆様にも、御礼申し上げます。

埼玉県立文書館では、阿部正浩館長、太田富康副館長をはじめ、職員の皆様方に本当に温かく迎えていただき、素晴らしい環境の中で研究を進めさせていただきました。地図センターで担当として直接ご指導いただいた学芸員の若松良一様をはじめとした皆様には本当にお世話になりました。お忙しい中で原稿や資料に対するご指導をいただいた他、私の研究のために資料の閲覧に何度もご協力いただきました。また、普段見られない貴重な資料の修復や整理の場面に立ち合わせていただいたり、古文書講座に参加させていただいたり、研究の裾野を広げるさまざまな知識や発見につながる機会を多くいただきました。担当課長の坂本圭一郎先生、関根均先生には、教員籍として研究の進行や研究内容について気にかけていただき、様々なアドバイスをいただきました。小中学校それぞれの現場でのお話をさせていただく機会も多く、研修の場にながら現場での視点を忘れないよう戒めていただいたと思います。

上里町立郷土資料館の丸山修様、林道義様には、度々の急な訪問や質問などにも関わらず、常に懇切丁寧に、上里町の歴史や水害に関連する資料などの相談に乗っていただき、お忙しい中にも関わらず貴重な資料の提供をいただいた他、収蔵庫資料の閲覧などをさせていただきました。資料館の皆さんとのお話で頂いた知識や提供していただいた資料が研究や検証授業を支えてくださいました。

上里町役場くらし安全課主任の池田純様、飯塚友莉様には、お時間を割いていただき、台風19号の際の対応や、防災教育での学校との協力について取材させていただきました。検証授業では実際にご参観いただき、授業後は直接役場に訪問させていただき、授業の内容に対してご意見やご感想をいただきました。

埼玉大学教育学部附属中学校の二瓶剛教頭先生、齊藤耕太郎先生、内藤圭太先生、石高吉記先生には度々お時間をいただき、全国の研究大会の情報や研究授業のアドバイスなどをいただきました。

上里町立賀美小学校の堀越由喜子校長先生、神保原小学校の石川優子校長先生、長幡小学校の福島実校長先生、七本木小学校の伊藤壮一校長先生には、直接訪問しての資料収集に快くご協力いただきました。

また、平澤先生に同行した数々の学会や研究会を通して、越谷市立西方小学校の中山正則先生、東京都足立区立第十二中学校講師の高圓省三先生をはじめ多くの小中学校、高等学校、大学の先生との出会いがあり、そのご縁を通じて学会や研修会、巡検などの機会をいただき学びを深めることができました。

同期の研修生である三郷市立鷹野小学校の島田康德先生には、会うたびに学びと刺激をいただきました。社会科への勉強熱心さと子どもへの温かい向き合い方にふれ、研究を頑張る原動力となりました。互いに検証授業を見せ合い、感想や意見をぶつけ合えたことは素晴らしい財産です。本当にありがとうございます。

そして、長期研修への応募に背中を押してくださった北部の中学校社会科の大先輩方に感謝を申し上げます。

最後に、貴重な研修の機会を与えてくださいました埼玉県教育委員会、北部教育事務所、上里町教育委員会、研修に送り出してくださった上里町立上里中学校の新井靖校長先生をはじめとした職員の皆様、検証授業に協力してくださった2学年社会科担当の津久井亮典先生と学年の先生方、そして2年生の生徒の皆さんに、心より感謝を申し上げます。本当に多くの皆様のご支援とご協力をいただきました。ありがとうございます。

令和2年3月

岩田 哲哉